



笛吹市 議会だより

平成20年4月22日発行

2008

Vol.14

GIKAI DAYORI

笛吹市役所に聞ってみました。
山梨デスティネーションキャンペーンが始まりました。
魅力ある笛吹市を、全国に紹介できるでしょうか？



FUEFUKI CITY



笛吹市

議会だより 2008 Vol.14

表紙	1
あんない・議会日誌・会期日程	2
荻野市長・施政方針	3
3月定例議会で決まったこと	4～8
会派代表質問(6会派)	9～14
●日本共産党笛吹市議団 ●笛政クラブ ●正鶴会 ●清新会 ●新和会 ●公明党	
一般質問(9議員)	15～19
●渡辺 清美議員 ●渡辺 正秀議員 ●山本 富貴議員 ●大久保俊雄議員 ●松澤 隆一議員 ●杉岡喜美雄議員 ●内藤 武寛議員 ●川村 恵子議員 ●新田 治江議員	
委員会レポート	20～21
笛吹市役所に聞いてみました／編集コラム・笛吹川	22

あんない CONTENTS



議会日誌 GIKAI diary

12月 December

5日	全員協議会・本会議
10日～11日	本会議(一般質問)
12日～13日	各常任委員会
14日	教育厚生常任委員会
18日	議会運営委員会・全員協議会・本会議
25日	東八代広域行政事務組合議会 リニア中央エクスプレス新駅誘致推進決起大会
26日	山梨県市町村総合事務組合議会 東山梨行政事務組合議会議員協議会

1月 January

6日	消防団出初式 市営バス実証運行開始式
8日	議会広報編集委員会
10日	議会放映編集委員会
13日	笛吹市成人式
15日	埼玉県騎西町議会来庁 東山梨環境衛生組合議会検討委員会
23日	愛媛県西条市議会来庁
23日～24日	東山梨環境衛生組合議会視察研修
25日	議員新年互礼会
28日～29日	教育厚生常任委員会視察研修
29日～30日	総務常任委員会視察研修 建設経済常任委員会視察研修
31日	女性議会

2月 February

2日	道路特定財源維持緊急決起大会
4日	甲府・笛吹・富士河口湖・富士吉田線促進期成同盟会

6日	議会改革検討委員会
7日	全国市議会議長会評議員会
12日	全員協議会・教育厚生常任委員会
14日	釈迦堂遺跡博物館組合議員視察研修
15日	山梨県市議会議長会議員合同研修会 峡東圏域リニア中央新幹線駅誘致推進協議会 南アルプス市議会視察来庁(消防本部)
19日	山梨県知事訪問
21日	議会運営委員会・議員研修会
22日	峡東地域広域水道企業団議会全員協議会
25日	後期高齢者医療広域連合議会
26日	東山梨行政事務組合議会
27日	東山梨環境衛生組合議会
28日	全員協議会・本会議
29日	釈迦堂遺跡博物館組合議会

3月議会・会期日程

2月28日(木)	■開会 全員協議会 本会議 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長施政方針 提出議案の説明 総括質疑・付託 3月3日(月) 本会議 代表質問 3月4日(火) 本会議 一般質問 3月6日(木)～7日(金) 各常任委員会 付託案件・事件審査 3月12日(水) 全員協議会 本会議 各委員会の審査報告 質疑・討論・採決 3月13日(木)～17日(月) 各常任委員会 付託案件・事件審査 3月21日(金) 議会運営委員会 全員協議会 本会議 各委員会の審査報告 質疑・討論・採決 ■閉会
----------	--

萩野市長の施政方針

「ふえふき協奏曲第1番」を策定 施策の相乗効果を高めていきます



合併後の4年間は、新市の一体化の推進、厳しい財政状況の対応など、大変革を求められました。

第一次笛吹き市総合計画で、“みんなで奏でる、にぎわい・やすらぎ・きらめきのハーモニー”を将来像とし、「ふえふき協奏曲第1番」を策定し、市民第一主義を視点として市民の参画と協働の実践に取り組んでまいります。

総合計画施策体系の主要事業

1、実り多い産業と人々の集うまちづくり

- ・市営バス運行事業は、地域の実情に即した公共交通ネットワークの構築を図ります。
- ・峡東圏域リニア中央新幹線誘致運動を積極的に行います。
- ・もてなしの心があふれる観光地づくりのため、豊かな自然を活かし、都市住民との交流を進めながら、桃・ぶどう日本一の生産量を維持し、ブランド形成を図る施策を展開します。
- ・農地環境整備や、土地改良事業の農地水環境保全向上対策事業など、積極的・計画的に進めます。
- ・観光振興と来訪促進を図るため、「全国鶏飼サミット」の開催や、「温泉利用プログラム型健康増進施設」のPRなど、療養・保養を望む観光客の誘致に努めます。

2、安心して健やかに暮らせるまちづくり

- ・地域まちづくりプランの提案により、土地利用や施設の整備方針などを協議し、都市計画マスタープランを策定します。
- ・石和駅前土地区画整理では、モニユメントの整備も終わり、足湯施設、電線共同溝工事・道路築造舗装工事等の整備工事を行っています。
- ・安心・安全の備えづくりのため、救命講習の拡大充実、消防の広域化、災害時要援護者を把握する台帳整備などを進めます。
- ・ごみ減量化は、生活系ごみ53%減量を目標に、市民の利便性の向上や、減量意識の啓発に努め、リサイクル計画の推進など、さらに減量施策に努めていきます。

3、個性輝く人々が育ち活躍するまちづくり

- ・特定健診、後期高齢者医療制度、障害福祉など、より快適で健康な生活維持のため、支援体制の確立と円滑な運営に努めます。
- ・健康づくり事業、介護保険、子育て支援、ファミリーサポートセンター支援事業など、事業内容の充実やサービスの向上を目指し、ニーズに的確に対応していきます。
- ・水道事業は、琴川ダム用水の受水が4月中旬ころに開始されます。畑かん用水の用地確保や、使用料の徴収体制を強化し、収納率の向上に努めます。
- ・生涯学習、学校教育、社会体

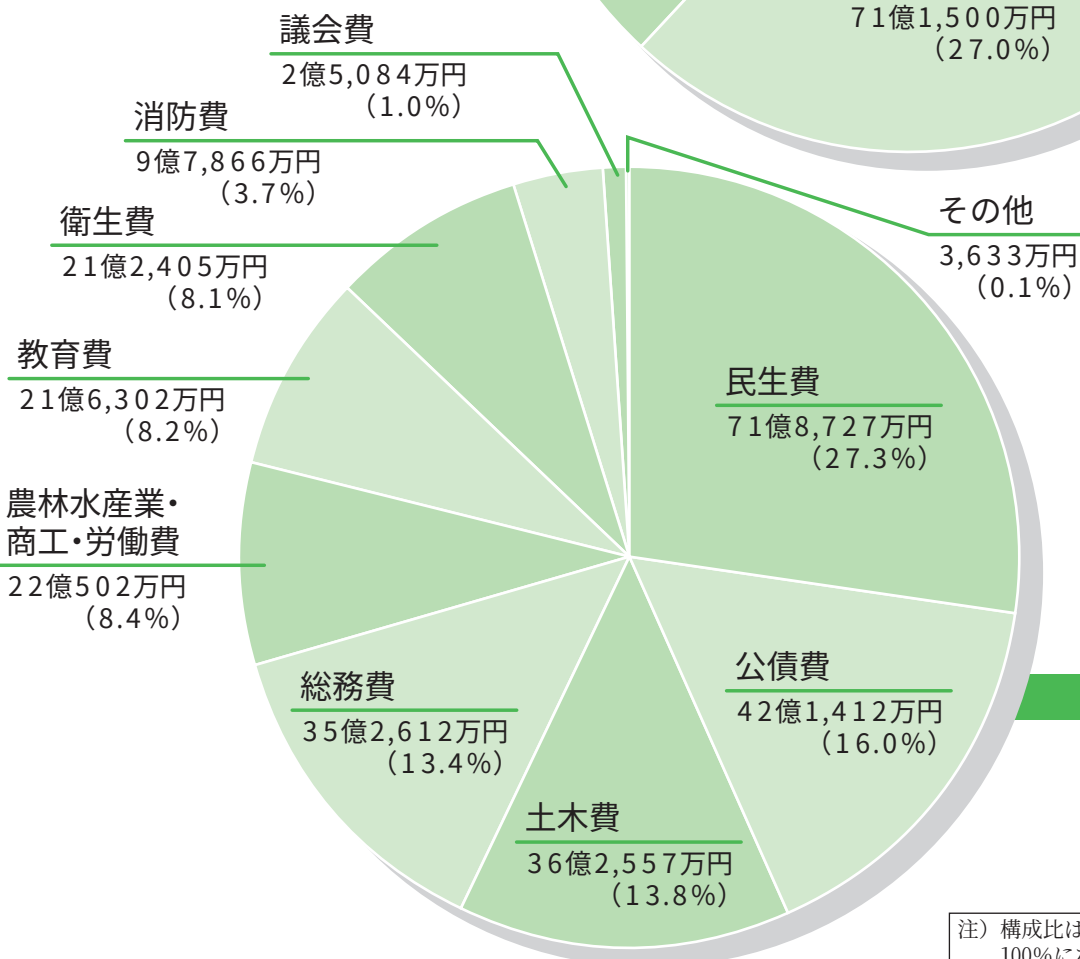
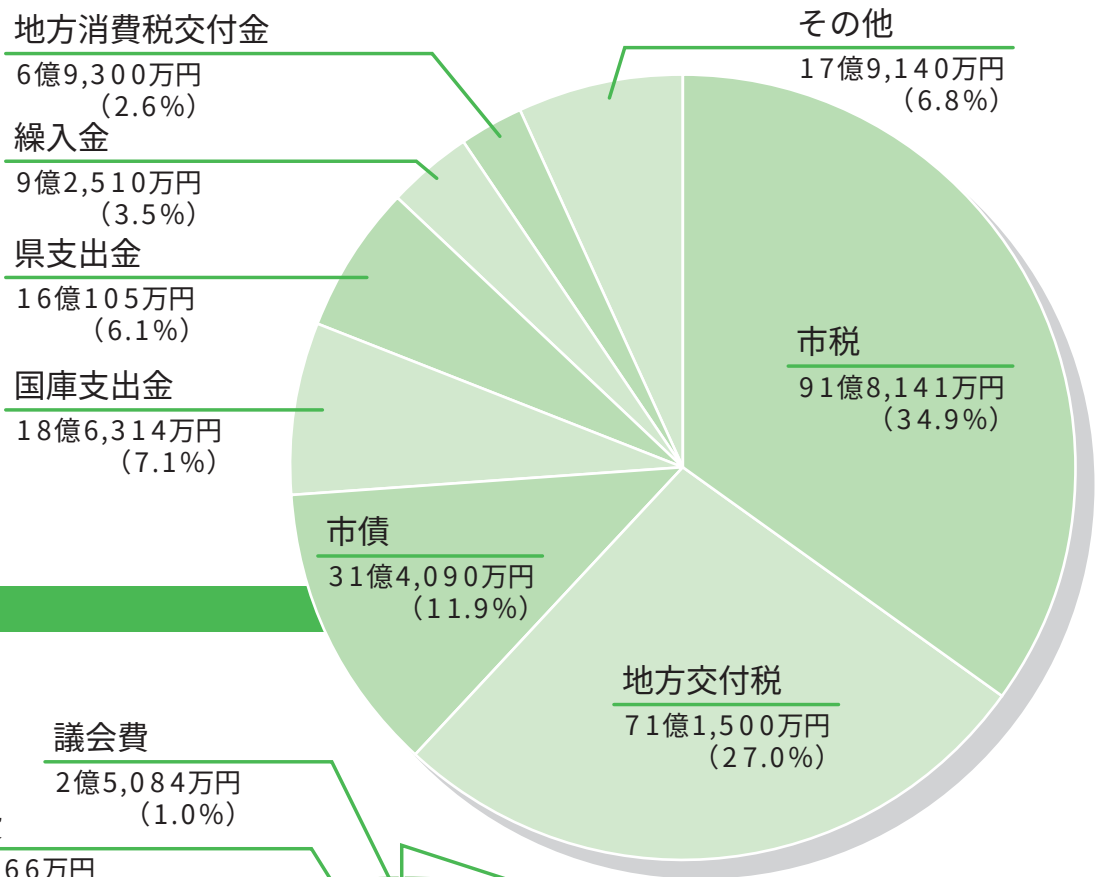


4、将来像実現に向けた取り組み

- 育など、青少年の健全育成に努め、教育基本ビジョンの策定や、「総合型地域スポーツクラブ」の設立を目指し、地域と連携して推進していきます。
- ・文化財の保存・活用については、国の補助事業を活用し、芦川町の古民家群の調査や、集落環境など、将来の保全に向け取り組みます。
- ・市税等の収率向上のため、滞納額の縮減や納税秩序の確立など、自主納付する地域社会の実現を目指します。
- ・総合評価落札方式による入札事業の導入で、事後審査型条件付一般競争入札を基本とした入札を試行・実施していきます。
- ・市民と行政との協働に向け、「まちづくり」をキーワードに、新しい地域コミュニティが創出できるよう取り組んでいきます。
- ・住民基本台帳カード利用促進のため、市民生活の利便性の向上、電子自治体の構築に向け、普及促進に努めます。
- 3月定例会における萩野市長の施政方針を要約したものです。

263億1,100万円を可決

歳入 財源



歳出 使いみち

注) 構成比は端数処理の関係で100%にならない場合もあります。

3月定例議会 20年度当初予算 〈特別会計〉

国民健康保険特別会計

(単位：千円)

歳入	国民健康保険税	23億2,050万4	31.39%
	国庫支出金	23億3,667万2	31.61%
	前期高齢者交付金	9億1,325万4	12.35%
	共同事業交付金	8億9,940万7	12.17%
	その他	9億2,310万9	12.49%
	合 計	73億9,294万6	100.00%

歳出	保険給付費	46億8,253万0	63.34%
	共同事業拠出金	9億5,341万0	12.90%
	後期高齢者支援金等	8億6,795万0	11.74%
	介護納付金	5億0,375万4	6.81%
	その他	3億8,530万2	5.21%
	合 計	73億9,294万6	100.00%

老人保健特別会計

歳入	支払基金交付金	4億3,928万7	52.79%
	国庫支出金	2億6,045万2	31.30%
	その他	1億3,246万0	15.92%
	合 計	8億3,219万9	100.00%

歳出	医療諸費	8億2,996万4	99.73%
	総務費	157万8	0.19%
	その他	65万7	0.08%
	合 計	8億3,219万9	100.00%

介護保険特別会計

歳入	介護保険料	7億2,837万9	17.88%
	支払基金交付金	11億9,358万9	29.29%
	国庫支出金	9億4,470万1	23.19%
	その他	12億0,780万6	29.64%
	合 計	40億7,447万5	100.00%

歳出	保険給付費	37億8,880万9	92.99%
	総務費	1億5,492万0	3.80%
	地域支援事業費	9,474万6	2.33%
	その他	3,600万0	0.88%
	合 計	40億7,447万5	100.00%

介護サービス特別会計

歳入	サービス収入	1,201万6	97.55%
	繰越金	30万0	2.44%
	諸収入	2	0.02%
	合 計	1,231万8	100.00%

歳出	事業費	606万1	49.20%
	総務費	571万2	46.37%
	予備費	54万5	4.42%
	合 計	1,231万8	100.00%

後期高齢者医療特別会計

歳入	後期高齢者医療保険料	4億4,911万5	40.33%
	繰入金	6億6,456万9	59.67%
	その他	5	0.00%
	合 計	11億1,368万9	100.00%

歳出	後期高齢者医療広域連合納付金	10億8,245万3	97.20%
	総務費	3,078万4	2.76%
	その他	45万2	0.04%
	合 計	11億1,368万9	100.00%

公共下水道特別会計

歳入	市債	19億5,200万0	42.93%
	繰入金	17億9,224万9	39.42%
	使用料及び手数料	4億0,427万1	8.89%
	その他	3億9,821万2	8.76%
	合 計	45億4,673万2	100.00%

歳出	公債費	28億6,871万2	63.09%
	下水道事業費	15億1,376万7	33.29%
	総務費	1億6,325万3	3.59%
	予備費	100万0	0.02%
	合 計	45億4,673万2	100.00%

農業集落排水特別会計

歳入	繰入金	7,200万5	87.68%
	使用料及び手数料	911万9	11.10%
	その他	100万2	1.22%
	合 計	8,212万6	100.00%

歳出	公債費	7,077万3	86.18%
	農業集落排水事業費	1,097万6	13.36%
	総務費	37万7	0.46%
	合 計	8,212万6	100.00%

簡易水道特別会計

歳入	繰入金	3億4,305万3	38.12%
	使用料及び手数料	2億7,055万8	30.06%
	市債	1億6,150万0	17.94%
	その他	1億2,488万7	13.88%
	合 計	8億9,999万8	100.00%

歳出	水道費	6億2,901万8	69.89%
	公債費	1億9,422万6	21.58%
	総務費	7,375万4	8.19%
	予備費	300万0	0.33%
	合 計	8億9,999万8	100.00%

温泉事業特別会計

歳入	使用料及び手数料	6,391万3	99.29%
	その他	45万8	0.71%
	合 計	6,437万1	100.00%

歳出	総務費	6,337万1	98.45%
	予備費	100万0	1.55%
	合 計	6,437万1	100.00%

水道事業会計（収益勘定）

歳入	給水収益	6億8,600万0	60.01%
	雑収益	2億1,888万1	19.15%
	他会計補助金	1億6,436万9	14.38%
	その他	7,381万9	6.46%
	合 計	11億4,306万9	100.00%

歳出	原水及び浄水費	4億9,627万5	43.42%
	減価償却費	2億5,885万2	22.65%
	総係費	1億5,029万4	13.15%
	その他	2億3,764万8	20.79%
	合 計	11億4,306万9	100.00%

水道事業会計（資本勘定）

歳入	企業債	1億9,780万0	30.49%
	工事負担金	1億1,485万5	17.70%
	出資金	6,524万2	10.06%
	留保資金他	2億7,086万5	41.75%
	合 計	6億4,876万2	100.00%

歳出	水道建設費	3億9,018万9	60.14%
	企業債償還金	1億7,457万0	26.91%
	第1次拡張費	8,344万5	12.86%
	営業設備費	55万8	0.09%
	合 計	6億4,876万2	100.00%

黒駒山外8財産区管理会特別会計

歳入 4,404万9

歳出 4,404万9

注) 構成比は端数処理の関係で100%にならない場合もあります。

平成20年 3月定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対

議案番号	種別	案 件 名	笛 政 ク ラ ブ	正 鵜 会	清 新 会	新 和 会	公 明 党	共 産 党	無 会 派	可 否
議案 第1～18号	条例 制定 改正	・ 笛吹市後期高齢者医療に関する条例の制定	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 笛吹市役所支所設置条例の一部改正	賛 成 多 数							可決
		・ 笛吹市職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 笛吹市職員給与条例の一部改正 ・ 笛吹市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 ・ 笛吹市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・ 笛吹市国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 笛吹市手数料条例の一部改正 ・ 笛吹市児童館条例の一部改正 ・ 笛吹市学童保育室条例の一部改正 ・ 笛吹市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正 ・ 笛吹市乳幼児医療費助成金支給条例の一部改正 ・ 笛吹市重度心身障害者医療費助成条例の一部改正 ・ 笛吹市国民健康保険条例の一部改正 ・ 笛吹市老人医療費助成金支給条例の一部改正 ・ 笛吹市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正 ・ 芦川村の編入に伴う笛吹市介護保険条例の適用の経過措置に関する条例の一部改正 ・ 笛吹市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 第19～25号	補正 予算	・ 平成19年度笛吹市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・ 平成19年度笛吹市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 平成19年度笛吹市老人保健特別会計補正予算（第5号） ・ 平成19年度笛吹市介護保険特別会計補正予算（第4号） ・ 平成19年度笛吹市公共下水道特別会計補正予算（第4号） ・ 平成19年度笛吹市簡易水道特別会計補正予算（第4号） ・ 平成19年度笛吹市水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 第26～42号	当初 予算	・ 平成20年度笛吹市一般会計予算 ・ 平成20年度笛吹市国民健康保険特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市老人保健特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 平成20年度笛吹市介護サービス特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・ 平成20年度笛吹市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 平成20年度笛吹市公共下水道特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市農業集落排水特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・ 平成20年度笛吹市簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・ 平成20年度笛吹市温泉事業特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 平成20年度笛吹市名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	種別	案 件 名	笛政クラブ	正 鶴 会	清 新 会	新 和 会	公 明 党	共 産 党	無 会 派	可 否
議案 第43～45号	当初 予算	・平成20年度笛吹市春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・平成20年度笛吹市兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・平成20年度笛吹市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案 第46～47号	その他	・国土利用計画笛吹市計画の策定 ・東山梨環境衛生組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 第48～49号	条例 改正	・笛吹市行政組織条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	可決
		・笛吹市職員給与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 第50～52号	補正 予算	・平成19年度笛吹市一般会計補正予算（第6号） ・平成19年度笛吹市一般会計補正予算（第7号） ・平成19年度笛吹市介護保険特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意1号	人事	・教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議1号	決議	・暴力団追放に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議 第2～3号	意見書	・道路特定財源確保に関する意見書の提出	賛 成 多 数							可決
		・公共工事における賃金等確保法の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成19年 請願第6号	請願 審査	・後期高齢者医療制度に関する請願	賛 成 少 数							不採
請願第1号		・「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	採

議員発議

意見書2件を国に提出

「暫定税率を十年間延長」実現を

道路特定財源確保に関する意見書

（要旨）

道路整備は社会基盤を充実させ、経済生活を支えるために重要であり、特に地方ではいまだ整備は不十分である。活力ある地域づくり、防災や救急医療体制のためにも道路網の整備は重要課題となっている。

笛吹市の発展に欠くことのできない新山梨環状道路の東側区間早期整備、甲府・笛吹・富士河口湖・富士吉田線（若彦路）の早期完成は今後のまちづくりを左右する大きな命題である。国会では道路特定財源の一般財源化

や、暫定税率の撤廃などが論議されているが、もしこれが実施されると、国・県道をはじめとして道路ネットワークの構築が大きく遅れることになり、地域の活性化計画、防災計画、医療機関への搬送時間の短縮化など、福祉への影響も計り知れない。

安心、安全のために道路の維持管理には膨大な予算が必要であり、特に老朽化した橋梁の腐食防止、耐震補強などは緊急の課題である。

道路特定財源の暫定税率を堅持し、真に必要な道づくりが強力に進められるよう強く要望する。

道路特定財源の暫定税率を十年間延長するため、租税特別措置法等の法案の年度内成立を図ること。

平成20年2月28日

山梨県笛吹市議会議員 中村 善次
（提出先） 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

教育委員に

桑原 明氏

（選任に同意）

桑原 明

・境川町寺尾2966番地1
・昭和29年5月22日生

建設労働者の適正な労働条件確保を

「公共工事における賃金等確保法」の制定
 など公共工事における建設労働者の適正な
 労働条件の確保に関する意見書

(要旨)

建設業の就業者は全産業就業者の約10%を占め、国の経済活動と雇用の確保に大きく貢献している。

しかし、建設業界では明確な賃金体系も確保されておらず、不況による受注競争の激化や、公共事業減少の中で、施工単価や労務費の引き下げにより建設労働者の生活は不安定なものになっている。

国は「公共工事入札及び契約の適正化の促進に関する法律」を制定し、参議院では「建設労働者の賃金・労働条件が適切に行われるよう努めること」を付帯決議している。国は次の措置を講じていただきたい。

一、公共工事において建設労働者の適正な賃金が確保されるよう、「公共工事における賃金等確保法」いわゆる「公契約法」を制定すること。

建設工事現場作業の様子



二、「公共工事入札及び契約の適正化の促進

に関する法律」の付帯決議に、
 実効ある施策を進めること。
 平成20年3月21日

山梨県笛吹市議会議長

中村 善次

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣

後期高齢者医療制度に関する

請願は 不採択に

12月定例議会から継続審査となっていた「後期高齢者医療制度に関する請願」は、教育厚生常任委員会での閉会中の2月12日と3月14日に審査をしました。

「広域連合議会では同じ趣旨の請願が不採択になっている。」「請願内容は高齢者の立場から見ると納得できる。」などの意見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定し、本会議でも不採択となりました。

『暴力団追放』を決議

3月定例議会で、議員提出による「暴力団追放に関する決議」を賛成全員で可決しました。

暴力のない平和で住みよいまちづくりは、市民共通の願いであり、善良な市民生活に脅威を与える暴力行為及び暴力的要求行為は、組織、個人を問わず容認できないものである。

しかしながら、本市においては、暴力団事務所が市内に移転されたことが明らかとなった。暴力団事務所は、暴力団活動の拠点であるだけでなく、対立抗争等が発生した際など全ての活動の拠点となるなど、周辺住民に著しい危険や不安感を与えるものである。

よって、笛吹市議会は、市内関係機関・各団体との連携のもと、総力をあげて暴力団を追放し、健全なまちの建設を目指すことを宣言する。

以上決議する。

平成20年2月28日
 笛吹市議会議長 中村 善次



3月9日に行われた広域暴力団追放総決起集会デモ行進

3月
定例議会

代表質問

3月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ち、21項目について市当局の考えをたえました。

以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

●日本共産党笛吹市議団	亀山和子議員 …9
●笛政クラブ	中川稔夫議員…10
●正鶴会	小林 始議員…11
●清新会	日高せい子議員…12
●新和会	前田初男議員…13
●公明党	中川秀哉議員…14



日本共産党笛吹市議団

亀山和子 議員

問 市営バス運行の今後は

亀山和子議員 市営バスの実証運行が始まって約2カ月、利用人数が少ない状況だが、使いやすい本格運行に向けての取り組みを求めながら質問する。

①市民への周知徹底は十分だったか。

②検討会は自家用車を持たない交通不便者中心になっていたか。

③高齢者にも分かりやすいバス路線図や時刻表にすべきでは。

④市営バスを利用した地域の活性化策や、まちづくりとの連携

答 デマンド方式も視野に検討

荻野正直市長 1月7日から22日までの3路線のバス利用者数は2,500人。運行経費採算

は。

⑤八代、東油川、小石和などから延長の要望が聞かれるが、空白地域への今後の運行は。

⑥路線バス以外に利便性の高いデマンドバス・タクシード方式の導入についての考えは。

ベースの基準25%による1日の乗車人数の約半分で、現状では継続が厳しい状況だ。しかし前向きのご意見もいただいております。利用者増に向けて更に検討したい。

①各区長会での説明、新聞折り込みで路線図と時刻表の配布、市のホームページと広報への掲載、沿線の病院や事業所等に時刻表の配置をしている。

②検討会のメンバーは、区長会、老人クラブ、身障者福祉会、女性団体、商工会、バス事業者、学識経験者、市職員で構成し、公平かつ適切な検討がされたと思う。

③路線が広範囲なため路線図の作成が難しい。今後再編も予想されるが、利用者に分かりやすいマップづくりを心がけたい。通勤・通学の足にも利用できる時刻設定も今後検討したい。



4月から開設した御坂児童センター

問 子どもの医療費 無料の年齢拡大と土曜午後保育実施を

亀山議員 ①子供の医療費無料化の年齢拡大を求める。②学童保育の土曜日実施と、保育所の土曜日午後の保育実施を要望する。

④ショッピングへのバス利用など、高齢者の外出機会や活動範囲の増加により、地域の活性化にも貢献できる。

⑤公共交通の空白地域に路線を設定したが、今後アンケートや実証結果も参考に検討したい。

⑥デマンド方式も視野に入れながら、より効果的な交通システム構築を目指してさらに検討したい。

答 今後の検討課題 として

荻野市長 ①本市は平成18年度から5歳未満児の通院と、小学校就学前までの入院を対象に乳幼児の医療費無料化、国保世帯乳幼児の市内医療機関窓口無料化も実施している。4月1日から県下統一して社会保険加入者も含め窓口無料となる。医療費助成の現行制度は県の2分の1補助で実施しており、対象年齢拡大は市の単独財源になる。財政状況を勘案しながら、総合的な子育て支援策を推進していきたい。

②本市は市内10カ所で、月曜から金曜まで学童保育を実施している。保育料は月額一人2,000円で、県内の市町村では低料金である。土曜午後の保育は県内でも少なく、実施には指導員の確保や経費増の問題があり、今後の検討課題としたい。

保育所での土曜午後保育は、県内の民間保育園8カ所で午後6時まで実施しているが、これも給食の提供、保育士や調理員の確保、保護者負担などの問題もあり、検討課題としたい。



笛政クラブ

中川 稔夫 議員

「ふえふき協奏曲」に取り組み 市長選再出馬を

中川稔夫議員 ①平成20年度を初年度とする第一次笛吹き総合計画は、サブタイトルを「ふえふき協奏曲」とし、市民との協働のまちづくりの将来像をうたい上げたものである。「ふえふき協奏曲」の編成者、指揮者である荻野市長に、本年11月の市



リニューアルした石和温泉駅前広場

長選挙に再度出馬を要望し、決意を聞きたい。
②市民提案プロジェクト推進の、具体的な取り組みは。
③事業実施の財源確保が重要だが、新年度予算編成に当たり、滞納などの現状を踏まえ財政健全化の取り組み、経常収支比率、実質公債費比率はどうか。合併特例債の活用と、今後の充当計画は。道路特定財源が廃止された場合の本市への影響は。

答 市民要望に応え 出馬の決意を表明

荻野市長 ①新市誕生以来、これまで新市建設計画の基本理念に基づいて、職員とともに取り組んできた。一定の手応えを感じているが、まだ緒についたばかりのものもあり、今後「ふえふき協奏曲」の指揮者として、10年後の将来像に向けて身を粉にして取り組まなければならない

い。残る任期に全力を傾注し、秋の市長選挙には、多くの市民のご要請にこたえて出馬の意思を固め、ここに決意を表明し、ご支援をお願いする。
②多くの市民や関係団体に参加していただき、事業の企画・実施・評価を職員と共に進めていただくプランを作り、市民にお示ししたい。
③行財政改革大綱に基づく集中改革プランにより、行政のスリム化を図りつつ、達成状況を公表しながら改革を進めていく。

問 公共施設の整備は

中川議員 ①ごみ処理施設の建設にどう取り組むのか。

②市の規模に見合った文化会館の建設が必要では。
③総合スポーツ公園の建設は。
④石和駅周辺整備事業で、笛吹市の果実、温泉などの資源を結合し、エスカレーターも設置した市の玄関にふさわしい駅舎の建設が図れないか。
⑤富士河口湖町と笛吹市を結ぶ若彦路の開通に合わせ、道の駅設置を望む。

答 道の駅は県と 協議、測量中

荻野市長 ①甲府・笛吹・山梨・甲州の4市によるごみ処理施設事務組合が主体となり、今年度基本計画を策定し、必要な規模、性能、施設の配置を検討し、最終処分場との整合、中間処理施設に要する地下水調査を進めている。測量は今後の業務となる。環境影響評価を20年度夏までに埋蔵文化財調査を22年度に実施する。用地買収は22年度の早期を予定し、27年4月の供用開始を目指している。県の最終処分場も調査の結果支障なしとの結論が出ている。八千蔵地域等の開発と併せ、安全性と地域住民の不安解消に最大限配慮していく。

②③必要性が大きいですが、財政状況を極めながら取り組んでいく。

問 国土利用計画と関係 連計画の整合性は

中川議員 市の総合計画と国土利用計画、都市マスタープランや農業振興地域計画との整合性は。

答 総合計画を基本に

荻野市長 総合計画を基本に、関連諸計画は新たに策定・修正していく。都市マスタープランは市内を3ブロックに設定、新しいまちづくりの指針を、芦川地区も含め市内全域を対象に計画している。住宅地と果樹農地が共存する田園都市として、温泉郷と連携した観光振興を基本に、農業振興地域整備計画との整合性を図る。農振計画は20年度に総合見直しをする予定。果樹園農地を景観農業整備区域に想定して土地利用を図る。特に芦川地域の文化財的景観を、地域の市民と協議しながら保全に

▲
努めていきたい。

問 国保税、介護保険料に奨励制度を

中川議員 健康で国保や介護保険を利用していない高齢者の保険料、介護保険料を軽減する奨励制度を考えてはどうか。

答 健康づくり施策で対応したい

荻野市長 相互扶助の保険制度の趣旨から実施は困難と考える。質問の趣旨は十分理解できるので、貴重な提案として受け止めながら、健康づくり事業に取り組む人々への奨励制度を調査研究し、国にも提案していきたい。



正鶴会

小林 始 議員

問 当初予算の編成方針を問う

小林始議員 ①平成20年度当初予算編成の考え方を聞きたい。
②合併特例債の今後の活用計画は。

③特例債の活用により本市のプライマリーバランスはどうか。
財政健全化法に規定された4つの指標、実質赤字比率、連結赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率は。

答 「枠配分方式」を継続

荻野市長 ①一般財源に限度額を事前に設定して予算見積もり

をする「枠配分方式」により、経常的経費の縮減に努め、行政水準の維持向上を心がけて編成した。

②合併特例債は、暫定的に247億2,900万円の借入額を予定しており、今後事業を見極め見直ししていく。

③市のプライマリーバランスは18年度は13億8,000万円、19年度は11億円の赤字、20年度当初予算では1億8,000万円の黒字だが、国の財政措置により黒字幅は増加すると思われる。

る。実質赤字比率と連結実質赤字比率は一般・公営事業会計とも黒字なので対象外、実質公債費比率は14・4%、将来負担比率は不確定要素が多く数値は出していない。

問 峡東3市の広域連携は

小林議員 ①リニア中央新幹線の駅誘致を山梨市、甲州市と連携、協力してどのように進めるのか。

②峡東3市は県内一の果樹生産地であり、ぶどう、桃、サクランボ、ワイン、柿、スモモなど3市の特産物が連携して、観光の新たな広がりを探る必要がある。また若彦路の開通は、富士河口湖町と連携して観光客誘致の拡大を図る好機である。

③4市によるごみ処理施設の建設事業の今後について、また、八千蔵、高家地区の振興対策の進捗状況はどうか。

答 リニア駅誘致、観光を広域連携で

荻野市長 ①2月15日に山梨市・甲州市の市長・市議会正副議長のご出席を得て、(仮称)峡東圏域リニア中央新幹線駅誘致推進協議会の設立に向け準備会を開催、役員、予算案、事業計画



山梨リニア実験線建設用地（境川町地内）

案の確認を得た。4月下旬から5月中旬までに設立総会を開催し、国・県、国会議員や事業者への誘致協力要請を積極的に関する。

②今年4月からの「山梨デステイネーションキャンペーン」を機に、中央線沿線の地域と連携して「峡東観光圏」を共通認識に事業を推進している。

③4市による甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合を設置し、他の地域に先駆けて広域化を推進している。広域事務組合で上寺尾地区に一般廃棄物の焼却、溶融、リサイクル施設を整備し、県は最終処分場を整備する方向で進んでおり、27年4月の供用

開始を目指す。八千蔵、高家地区については市の行政責任を果たすことが基本方針であり、関係3市も納得できる施設等の建設を、処理場建設と併せて進めていく方針である。

問 循環型社会構築への取り組みは

小林議員 ①市長の「笛吹市バイオマスタウン構想」を評価する。木質系バイオマスのチップ化、生ごみの堆肥原料化、廃食油のBDF燃料化が3つの柱だが、この構想具体化に今後どう取り組むのか。

②廃食油のBDF化を積極的にPRし、市民一体となった取り組み、また広域連携で展開し、将来はごみ処理施設などの燃料として活用を期待する。

答 廃食油BDF事業を全市に展開

荻野市長 ①2月から「農と食と微生物を生かしたバイオマスの郷づくり」を目指して事業を開始した。果樹剪定枝をチップ化、堆肥化する粉碎機共同購入補助事業、微生物活性液製造装置、大型生ごみ処理機を購入して、製造した活性液、生ごみ堆肥を農家に無償提供して有機栽培技術の普及を推進する。モデ



ル地区を選定して生ゴミの分別収集を始めたが、今後、市全域に拡大して、バイオマスセンターの設置に向け検討・研究していく

②18年度に設置した廃食油精製プラントを活用して、市内の学校給食等からの使用済み食油を回収し、19年10月からはモデル地区の一般家庭からの回収も始めた。これらをBDF燃料として再生し、公用車やごみ収集車の燃料としてリサイクルしている。20年度から市内全域の一般家庭も回収の対象に加え、ホテル、旅館等からの回収も検討し協議していく。リサイクル意識の向上も図っていく。

特色ある「オンラインワン事業」を提案

小林議員 ①北杜市のヒマワリのように、花を観光の目玉として全国に発信している自治体が多い。笛吹市の花であるバラを市内に100万本植樹し、日本一のバラの街とする計画の推進を提案する。

②山梨で一番の「光の街」イルミネーションを、市民総参加で推進しては。

③「スマイル・あいさつ・もてなしの街」を推進し、「花・光・もてなし」を本市の特色として、

(仮称) オンラインワン計画を考へてはどうか。
④市内の「現代の名工」を発掘し、市民や子供たちにその素晴らしい技術に触れてもらう取り組みを考えてほしい。

夢のある企画、検討したい

荻野市長 ①夢のある計画だが、美しいバラの管理育成は専門的な技術と多くの労力が必要であ



清新会

日高せい子議員

3年間の課題明確にし、施策展開を

日高せい子議員 ①合併して3

年の実績と課題を明確にしながら施策を展開していかなければならない。

①このことに着眼した予算編成の考え方は。

②事務事業評価の進捗状況と、予算編成に考慮されている点があれば聞きたい。

③合併により生じたといわれる地域格差についての見解は。

る。熱意ある市民の協力により、長期的視点で対応していきたい。
②すばらしい提案であり、市民の自主的な参加と協働により実現するよう、効果的な支援を検討したい。
③初心に返り、あいさつともてなし、笑顔のまちづくりを目指したい。
④本市の優れた技能・技術者を発掘し、市長が認定する制度の創設も検討したい。

20年度から事業評価を導入

荻野市長 ①第一次総合計画「ふ

えふき協奏曲第1番」を策定した。計画に定めた28の施策を着実に進めていく。

②17年度に、各課1事業について事務事業評価を導入、職員研修を重ねて行政評価の理念定着を図っている。19年度は約

700の事業について評価を実

学校給食センター(八代町地内)



施した。事務事業評価が予算に大きく影響するケースは少ない。20年度に施策評価の導入を計画しており、これが機能し始める22年度以降は、施策や事務事業の優先順位付け、次年度予算に反映するようになる。

③限られた財源で行政サービスを行うには「選択と集中」、効率と効果を基本としなくてはならない。それが「格差を生む」という誤解を解くため、説明責任を果たしていきたい。全国的な一般論としての「合併による地域間格差」については、旧市町村が特色を生かして行ってきた行政サービスは、合併後は平

準化しなくてはならないが、高

い水準に合わせることは財政上困難となっている。「合併したらサービスが後退した、無くなった」という声に、どの自治体も苦慮している。本市もサービスの平準化に向けて見直しを進めているが、正しいご理解がいただけるよう、積極的に情報公開をしていきたい。

指導要領改定の影響と給食の地産地消を

日高議員

①学習指導要領が改定され、2009年春から授業時間が増えると予定されているが、現場ではどのように受け止められているのか。市の教育ビジョン策定には、どのような影響があるのか。

②中国産の餃子が学校給食に使われていることが報道されたが、給食材の地産地消を積極的に進めるべきではないか。

知恵を結集して対応していく

山田武人教育長

①学習指導要領改定の骨子は、1、「知・徳・体」の調和。2、言語活動の充実。3、理数科を中心に授業時間数の増加と充実。4、伝統・文化教育の充実。5、学校教育全体で道徳教育を行う。だが、学校現場の意見は、「総合的な



学習」時間の減や、低学年からの授業時間増、小5・6から導入される英語教育の教える側の英語力への不安や疑問などがある。各学校の授業は大きく変わらざるを得ないが、現場のプロの技と教育委員会の知恵を結集していきたい。市の教育ビジョンは独自のものだが、内容的に指導要領と抵触する点があれば、それに沿った考え方を取り込む必要がある。

②市内・県内・国内産の安全な食材を利用する地産地消は、すべての学校で実施している。野菜をはじめ柿・桃・ぶどうなど果物の缶詰が中心である。市内の農家は9割が果樹栽培のため、野菜の種類や量の確保が難しいという障害があるが、前向きに考えていきたい。

問 障害者福祉政策は

日高議員 障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域や関係機関との連携強化と体制づくりの具体策を聞きたい。

答 支援システムの体制確立をめざす

荻野市長 障害者の自立は入所・入院から地域生活へ、施設から企業への就労移行が重要。市内2カ所の支援センターを中心に

相談・コミュニケーション・社会参加・就労支援を、また創作的活動や生産活動の機会提供など行っている。グループホームやケアホームに、地域の理解を得るための啓発、広報活動、障害者の社会参加のために、市内



新和会

前田初男 議員

の授産施設や小規模作業所と連携した機能訓練、生活訓練を実施。7月に設置した障害者自立支援協議会を中心に研究会を立ち上げ、雇用・就労支援システムを作っていく。

問 ごみ減量53%作戦と 廃食油リサイクルは

前田初男議員 ①22年度までの5年間で、17年度比で53%のごみ減量化作戦のこれまでの成果は。

②週2回の可燃ごみ収集日には、生ゴミに紙、プラ等が混じって出されている。ミックスペーパーやプラはリサイクル資源であり、市民全員に分別のPRと協力依頼を徹底してはどうか。
③生ごみ堆肥化のため、大規模な堆肥化処理施設を建設する考えと計画はあるか。
④廃食油の精製プラントを増設して、市内全域から廃食油を収集し、BDFを公用車の燃料と

してリサイクル活用してはどうか。

答 分別排出をさらに 啓発していく

荻野市長 ①今年1月の段階でミックスペーパー、プラの排出量は前年度より15〜20%上回った。モデル地区で生ごみの分別排出データを参考に、分別排出の必要性をさらに啓発していく。可燃ごみは16年度比で28%前後の減量が見込まれるが、53%減量にはさらなる努力が必要である。
②2割程度の資源物混入が見受

けられる。減量の意識向上を図りたい。

③家庭用の生ごみ処理への補助制度を推進し、堆肥化して農地への還元を進めているが、大規模な堆肥化施設建設も協議していきたい。

④20年度から市内全域を廃食油の収集対象とし、ホテルや旅館等にも拡大することを検討している。現在のプラントで日量100リットルのBDF精製が可能であり、問題ない。

問 笛吹市の自然を生かした観光PRを

前田議員 ①果実と温泉のみでなく、笛吹市ならではの自然の



芦川町内の兜造り民家群

魅力を発揮した観光PRが必要である。芦川地区の日本の原風景が残る兜造りの民家と石垣、里山と清流、スズランの群落を組み合わせた市全体の周遊コース作成が必要では。芦川地域全体をハイキングコースに位置づけ、新道峠からの富士の絶景を楽しみ、夜は石和・春日居温泉宿泊、翌日は観光ぶどう園、桃狩りを楽しめるような旅プランを作って、誘客を図ってはどうか。

②桃の花、スズランや市内からの富士など、笛吹市の自然の豊かさを写した写真や絵画のコンテストを企画し、温泉宿泊プラ写真・絵画展の年次開催を企画してはどうか。

答 笛吹市の魅力を 情報発信していく

荻野市長 スズラン祭りや市内の山梨百名山、新道峠の富士、芦川地区の原風景など、地域の再発見につなげていきたい。「山梨デステイネーションキャンペーン」の企画の中に組み込んでPRしており、旅行者者による企画も始まっている。写真展、絵画展も民間の方々、専門機関と協議しながら随時開催したい。



公明党

中川 秀哉 議員

問 道路特定財源暫定税率 廃止の影響は

中川秀哉議員 道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、国・地方合わせて2・6兆円の財源が消え、道路整備の予算が山梨県分で68億円、市町村分で24億円減収となる。

①笛吹市の道路整備計画の見積もりは。

②本市の道路特定財源の予算額と、暫定税率廃止に伴う影響と、計画を継続するための方策は。

答 **道路整備計画は
見直しが迫られる**

荻野市長 ①20年度に道路特定財源の地方道路整備臨時交付金で、道路整備を予定しているのは、一宮町の塩田金沢線と御坂町のリニア実験線工事用道路の2路線、事業費2億7千万円のうち国庫補助1億4、850万円を計上している。

②暫定税率が廃止された場合、本市では2億3、000万円ほど

どの減収となる。これにより臨時交付金による事業は継続されず、今後10年間に予定していた新規5路線の整備も実施困難となる。

問 原油高騰対策（福祉 灯油）の取り組みは

中川議員 灯油価格高騰が市民生活を直撃しており、寒冷地、低所得者に対する財政的支援、いわゆる「福祉灯油」対策を進める自治体も多い。

①本市の65歳以上の単身生活者と家族、生活保護世帯、障害者のある世帯、ひとり親世帯数は、②国は福祉灯油に2分の1を特別交付税で支援する政策を進めているが、本市の対応は。

答 **動向を注視して
対応したい**

荻野市長 予定対象者約5、100世帯を視野に入れ、生活



道路特定財源をもとに整備された市道境川176号線

状態を注視し検討している。今後は相談窓口を設けて生保家庭への冬期加算、社協の生活資金貸付制度を継続するとともに、灯油価格、近隣市の動向を注視しながら適切に対応したい。

問 税源移譲に伴う 取り組みは

中川議員 ①19年度に所得税から県・市町村民税へ税源が移譲され、税の収納率向上が望まれるが、取り組みと結果は。移譲された財源はどのような事業に使われたのか。

答 **収納率の
落ち込みなし**

荻野市長 国から地方へ3兆円の税源移譲により住民税所得割が一律10%となり、所得税のなかった人は住民税が大きく増えた。負担増調整のため税額控除が設けられたが、広報紙その他

の方法で説明して周知に努め、収納率が大きく変わることなく推移している。移譲された税源は一般財源として有効に活用している。

問 地方再生対策費の 計画策定は

中川議員 20年度から地方交付税の特別枠として、4千億円の地方再生対策費が創設され、笛吹市では3億8、200万円が見込まれる。本市の具体的な計画はどうか。

答 **地域活性化に活用**

荻野市長 この金額が直接交付税に加算されるものではないが、交付税の増につながるもので歓迎する。一般財源として地域活性化に結びつく事業に配分したい。

問 「ふるさと納税」に どう対応

中川議員 20年度から施行予定の「ふるさと納税」制度は、個人がふるさと自治体に寄付した額が居住している自治体の税額から控除される。笛吹市から税が出ていく場合もあるので、市の知名度アップが必要だが、どのように取り組むか。

荻野市長 ホームページ等で市

問 後期高齢者医療 制度について

中川議員 ①後期高齢者医療制度で利用者へのサービスはどう変わるのか。

②保険料負担への配慮は。③この制度を廃止した場合の自治体への影響はどうか。

答 **医療制度維持の
ためご理解を**

荻野市長 ①入院の負担や高額医療費の給付はこれまでの老人保健と同様。新たに年間の医療費と、介護保険利用額の合算額が限度額を越えた額が支給される。高齢者に適応した診療報酬の見直し、在宅医療の充実や介護サービスとの連携が強化される。

②加入している制度により不均衡があつた保険料が統一され、負担能力に応じて公平に負担することになる。低所得者や特別な事情がある場合には減免、猶予などの措置がある。

③公費5、国保等の拠出金5という現行制度では、増加し続ける医療費の財源確保が困難で、医療制度の存続が危惧される。高齢者にも1割を負担していただき、制度を維持していくためにご理解を願う。

一般質問

3月定例議会では、9人の議員が一般質問に立ち、15項目について市の考えをいただきました。以下は質問と答弁を要約したものです。

- 渡辺清美議員……15
- 渡辺正秀議員……15
- 山本富貴議員……16
- 大久保俊雄議員……17
- 松澤隆一議員……17
- 杉岡喜美雄議員……18
- 内藤武寛議員……18
- 川村恵子議員……19
- 新田治江議員……19

問 新入札方式「総合評価落札方式」の導入推進は

答 価格・技術的評価を含め望ましい案件で実施



渡辺清美議員
(公明党)

渡辺清美議員 総合評価落札方式は、国土交通省が市町村向けにマニュアルを策定し、制度に詳しい技術者を派遣する支援制度を実施するなど、人材面だけでなく、地方自治体の財政難を考慮し財政面でも支援している。市町村が総合評価方式に関する規定や関連資料を外部発注す

る場合は、その経費を補助・支援するなどしているが、すでに昨年10月から公募が始まり、笛吹市においても透明度の高い一般競争入札や、価格以外の多様な要素を評価する総合評価方式の拡大等、入札制度のさらなる改善を図るため、積極的に推進する必要があるが、いかがか。

石川光次総務部長 今年度から原則として、すべての入札を事後審査型条件付一般競争入札で行っている。

総合評価落札方式については17年度に公共工事の品質確保の推進に関する法律が施行され、

国・県で実施してきたが普及せず、施工計画を求めない特別簡易型の総合評価落札方式の推進を図っている。この事後審査特別簡易型総合評価条件付一般競争入札を、今年度1件試行した。総合評価落札方式は設計金額が5千万円以上で、落札者の決定は評価値の高いものを落札者としている。入札参加者の技術力、技術者の能力、地域貢献度等の評価点、入札価格などで評価し、落札結果はホームページに掲示し公表している。20年度についても、価格だけでなく、技術的な評価を含めて決定することが望ましい案件について、実施していきたい。

問 避難所指定校の防災機能整備は

渡辺議員 災害時に防災拠点となる学校施設は、避難所として

重要な役割を求められ、地域住民に必要な情報を収集・発信し、食料・生活用品等の必要物資を供給するなどの役割を果たす。防災倉庫の設置、自家発電設備の準備、浄水設備の整備等、学校施設の防災機能の実態はどうか。避難場所として十分機能できる公立学校施設の防災機能の整備推進と、市の現状、今後の取り組みを伺う。

答 防災倉庫は一部地域整備は計画的に行う

石川総務部長 市内35カ所の指定避難所のうち、学校施設は19

問 水道統合後の水道料金について

答 住民生活への影響と財政状況を勘案し慎重に検討



渡辺正秀議員
(日本共産党笛吹市議団)

渡辺正秀議員 市当局は統合時には基本的に水道料金の統一と、50%程度の引き上げが必要と説明した。根拠について伺う。

①琴川ダムの水利用で負担増が

どうなるのか。

②現簡易水道・上水道の経常経費の赤字補填額は、水道料金との関連は。

③人件費が損益勘定に入っているが、資本的収支にかかる部分はいくらか。

④簡水・上水にかかる基準財政需要額・交付税算定額はいくらか。

東海地震が懸念される中、最重要課題と考え、補助制度も積極的に研究し、計画的に整備していく。

校を占めている。備蓄食料や毛布などの防災用品は、支所庁舎や市指定の備蓄倉庫に設置してあり、学校施設の災害用品は備え付けがなく、自家発電装置も未整備で、敷地内に防災倉庫を整備している学校は、一部地域にしかない。現状では、支所や備蓄倉庫、消防団などの資機材を指定場所に運搬することで対応していく考えだ。

梶原清公営企業部長

①4月からの琴川ダム用水の受水開始に伴い、1トン当たり消費税込で115・5円、日量7、200トン、年間262万8千トン、約3億300万円の受水費がかかる。

②18年度決算で、給水原価は1立方メートル当たり133円、平均使用料金は102円、約30%、31円の差があり、一般会計からの繰入金で2億8、882万円。このうち、赤字補填的な基準外繰入金が約1億2、300万円。

③21年度から境川浄水場等の建設工事が始まり、専従となる担当職員の人件費は資本的収支に計上する。

④19年度普通交付税基準財政需要額の保健衛生費のうち、簡易水道・上水道事業分は、一般会計出資債元利償還金の45%の部分、簡易水道出資債元利償還金の10%の部分、簡易水道給水人口の部分で、2億2、163万1千円が算入されている。

問

ゴミ処理問題について

渡辺議員 ①ごみ収集指定個所に大きなアンバランスがある。成田地区では遠い家から1kmもある。適正な配置は行政の責任

だ。

②旧式の生ごみ処理機は、使用電力が大きく環境に悪い、夏場の運転が難しいなどの指摘がある。調査検討の状況は。

③分別されたプラ、ペットボトルが焼却処分されている疑念がある。実態は。

④カラスの増加による農業等への被害が発生している。一因として、路上のごみ収集場所が考えられるが対策は。

⑤ごみ減量まつり、ごみ減量コンテストの実施を提案する。

答

市民の要望に応え減量化を推進

加藤寿一市民環境部長

①利便性を第一に、地区の要望には現状状況を考慮して対応する。

②現段階では、旧式の生ごみ処理機への対応策は考えていない。堆肥化の拠点作り、モデル地区での大型処理機による再資源化の取り組みを推進していく。

③昨年度の収集量は、その他プラ約250トン、ペットボトル約100トン。汚れのひどい物等は可燃ごみとして処理するが、量的にはわずかと認識している。

④JAや猟友会との協議、補助金による防鳥ネットの設置を推進。収集場所の清掃、業者への迅速な収集依頼等を進める。

た。今後もアイデア募集をする等、啓発に努めたい。

問

本市の観光開発について

答

民間活力主導での検討を



山本富貴議員
(笛政クラブ)

⑤昨年と今年のボランティア祭りで、ごみ減量コーナーを設け

山本富貴議員

①石和・春日居温泉郷は、近年宿泊率が低下しており、原因は温泉郷に観光の目玉がないとの指摘がある。大蔵経寺山の観光開発を目玉としたらどうか。ケーブルカーで山頂に誘客し、甲府盆地と富士山の展望を堪能してもらうのが、最高のもてなしになる。

②今国会で酒税法が改正されると、1農家で2キロリットル、ワイン2、700本が搾れるようになるが、特区認可が前提となる。市長の所見を伺う。

保坂利定産業観光部長

①大蔵経寺山は、旧石和町時代、崩落の危険性ありとの調査結果を受け、開発計画が頓挫した経緯がある。しかし、観光の柱となり得るので、市の財政状況を踏ま

え、民活主導での検討をお願いしたい。

荻野市長 ②企業が農地を借りて、ぶどう生産ができるワイン特区の指定を受けている。搾るほうの特区についても、基本的には指定を目指す。

問

遊休農地対策について

山本議員 遊休農地は年々拡大し、農家戸数、後継者数ともに減るばかりだ。病害虫の巣となり、被害が隣接する畑に及ぶ。中山間地への直接払いの補助金をプールし、農地の荒廃化を防ぐ作業に活用したり、農地を借りる人への支援策の検討や、条例化はできないか。

答

遊休農地解消活用推進プランを展開

保坂産業観光部長 遊休農地対策として、貸し借りにかわる利用権設定の促進に、10アール当たり3万円から最高8万円の奨励金を支給。荒廃農地を復元

しての利用権設定に、10アール当たり21万円を限度に補助措置を講じている。17年度1・9ヘクタール、18年度2・5ヘクタールの実績があり、今年度も2ヘクタールを予算化した。遊休地の成木は、市に連絡があったものは、現場を確認し所有者に対処をお願いしている。遊休農地解消活用推進プランの事業展開に向けて、関係機関と連携し取り組むなかで、新たなルールづくりが必要か検討したい。





脱ゆとり教育答申後の 地域の教育力を高める取り組みは



地域・保護者・学校の 三者が一体となって推進



大久保俊雄議員
(笛政クラブ)

大久保俊雄議員 中教審が「ゆとり教育」を転換する答申を行った。さらに、全国一斉学力テストの結果、学力形成における地域間格差、地域内格差、階層間格差の拡大が懸念されている。

①「生きる力」の育成と言語力、特に英語力向上の具体策は。

②学校評価に対する、市の見解と取り組みは。

③保護者参加、PTA活動を促進するための具体策を問う。

山田教育長 ①豊かな言語力は、強靱な生きる力を身につけることにもなり、教育の根幹をなしている。英語力向上については、英語助手6名を中学校だけでなく、全ての小学校の授業に効果的に取り込み、英語への抵抗感をなくすようにしている。春日



富士山静岡空港の 開港を本市の活性化 に繋げる具体策は

大久保議員 デスティネーションキャンペーン終了後も観光客が増え続けるための取り組みが

不可欠であり、人・物・文化のさらなる交流促進を図るため、21年3月に空港の開港を控える静岡県と連携を取るべきだ。積極的な情報収集、働きかけをすべきだが、取り組みは。中部横断道の整備、清水港の大型改修も同時に進み、空港アクセスの時間短縮、国際貨物の増加、外国人旅行者および果実等農産物の輸出増加による既存産業の活性化が期待される。具体的施策は。



現地視察など 積極的に取り組む

保坂産業観光部長 静岡空港は、牧之原市に190ヘクタール、滑走路2、500メートル、国際線9便、国内線4便の運行が計画されている。清水港新興津コンテナターミナル倍増計画も進んでいる。山梨県、静岡県、神奈川県との協議会とも情報を共有し、他地域よりも先んじた活動を目指している。海を持たない我々は、かつて信玄公が駿河の国を見据えたように、広く東アジア方面を含めた交流を促進し、地域の活性化を求め調査研究を重ね、現地視察などに積極的に参加していきたい。



消防団運営の 活性化支援策について



「地域は自分たちの手で守る」 の観点で対応



松澤隆一議員
(正鵠会)

松澤隆一議員 阪神淡路や新潟県中越地域を襲った、自然災害の脅威に対する不安が定着しており、東海地震などの特別強化地域の笛吹市民にも、同様なことがいえる。

災害発生時、信頼をおくべきは地元消防団であることが、今般の本市の山林火災で裏付けられ、消防団の実績は高く評価されている。しかし、多くの自治体で、入団適齢者の減少や就労状況の多様化などにより、団員の確保、実動人員の確保などで運営に苦慮している。定員削減の声もあるが、拙速は避けて十分な検討が必要だ。下方修正の気運が台頭する前に、市は防災上、消防団活動を活発化し、円滑な運営を図るための取り組み

を推進すべきだ。市の認識を問う。

石川総務部長 大蔵経寺山の山火事に際して、改めて消防団の力を感じさせられた。消防団に感謝を申し上げる。

笛吹市消防団は、7分団、1、804名の団員で構成されており、市民の生命財産を守るための幅広い活動を実践し、広く市民からも活動に対する理解を得ている。「地域は自分たちの手で守る」という意識を地域共通認識とし、消防団を位置付けることが大切だ。消防車両や設備の充実を計画的に進め、分団交付金を効果的に使い、意欲ある団員が安心して、活動できる体制を構築したい。多様な価値観を持つ若者たちに自信を持って入団、活動してもらうため、使命感の醸成、技術研修をしっかりと実施していく。消防団と十分に協議し、進行中の部の統合とあわせて、体制づくりを総合的に検討し、非常時消防力の維持向上に努めたい。

問 指定管理者導入による 管理運営について

答 質の高いサービスの 提供を図る



杉岡喜美雄議員
(清新会)

杉岡喜美雄議員 指定管理者制度は、経費節減、質の高い公的サービスの提供を目的に、現在33施設、21年度までに47施設が予定されている。節減は3・8億円と、市にとって大きな負担減となっている。事業報告書では、利用者満足度、苦情、意見等の把握は困難だ。モニタリングのひな形を検討しているとのことだが、その結果は。管理運営上の変更点等、関心あるところだが、利用者のコンセンサスを得て行っているのか。また、指定管理者の選定委員会の構成について、改革する予定があるのか伺う。

の定期的な管理状況の点検、モニタリングを実施している。今後は、経験・検証を踏まえて指定管理の適正な運用と利用者ニーズを把握し、「指定管理者制度導入に関する運用方針」を策定する。現行の定時モニタリングに加え、随時モニタリングなど、市の責務として実施する予定で、市民や団体の意見を伺う努力をし、適正な制度運用を行いたい。

指定管理者選定委員会は、公平性や透明性の確保に配慮し、学識経験者や専門家などの外部委員と、市職員により構成するのが望ましいとされている。19年度は副市長ほか8名の市職員と、大学教授・NPO関係者・行政区長経験者の3名で構成されている。それぞれの見識に基づいて貴重な意見をいただき、現時点での構成は適当であると考えている。今後は、多方面の専門家の指名や、外部委員の比率を高めるなど検討したい。

問 八代ふるさと公園再開発 (第二期整備事業)と周辺整備を

答 財源確保を研究し、検討する



内藤武寛議員
(新和会)

内藤武寛議員 公園は平成元年より整備が始まり、約5ヘクタール、13億円を投入した。周辺には稲山ケヤキの森、四ツ沢川砂防公園等があり、ホテルの里づくり事業も展開されている。第二農免には四ツ沢大橋が架かり、すぐ下をリニアが通過する予定で、これらを有機的に結んだ観光スポットとしての取り組みが必要だ。公園をメイン会場に桜と桃の祭典「じよいそうらん祭り」が3月29日から4月13日に企画され、来訪者も4万2千人を見込んでいる。イベント等を将来的に続けるには、駐車場整備が不可欠で、第二期整備事業が早急に実施されることが必要と考えるが、市の所見を伺う。

保坂産業観光部長 公園は、眺望、桜、桃、菜の花、夏の夜景とホテルなど、素晴らしい観光資源を備えている。石和温泉旅館協同組合の企画による、夜景とホテルを見学するツアーは好評を博している。春には市内の花名所を巡るバスルートにも加えてある。公園の南に隣接する約1・3ヘクタールは、駐車場を含め、公園拡張を視野に現地測量を完了している。しかし、第二期整備はその規模から事業費が膨大になるため、補助金等有利な財源確保を研究し、検討したい。

問 中山間地事業に よる八代スポーツ 広場建設を問う

内藤議員 八代スポーツ広場は、22年3月完成予定だ。グラウンドは1万5千平方キロメートルの用地に、ソフトボール場2面、野球場1面、サッカー場1面、トイレ、駐車場、管理棟、倉庫などを考えると手狭であり、規

模等を再考し検討したいとの答弁を得た。その後、どのような検討がされたのか伺いたい。また、合併して3年以上経過し、地元への説明も必要ではないか。

答 八代スポーツ広場 計画は変更が妥当

山田教育長 八代スポーツ広場計画は、1万5千平方キロメートルでは手狭で、約2万5千平方キロメートルで再検討したところ、用地買収を含め、概算工事費が約7億5千万円の見込みとなり、国庫補助を受けても6億円以上の市の負担となる。体育館や陸上競技場などを含む総合運動場建設の要望があり、20年度にスタートする総合計画に、運動施設の整備が位置付けられている。両方の建設は、現状の財政では無理があり効率的ではなく、八代スポーツ広場は、計画の変更が妥当と考える。地元への説明を行うようにしたい。

問

「市民後見人」の養成で 成年後見制度の利用促進を

答

活躍できる人材養成は 今後の検討課題



川村恵子議員
(公明党)

川村恵子議員 成年後見制度は、認知症や知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない人の財産管理・身上監護についての契約や、遺産分配などの法律行為等を、自分で行うことが困難な方々を保護・支援する制度で、介護保険とともに平成12年4月にスタートしたが、制度が十分に知られておらず、後見人の認定の難しさなどから、介護保険制度ほど利用されていない。制度利用者を増やし、この問題を解消する切り札として期待されているのが、リタイアし社会貢献に意欲的なシニア層などのボランティアによる市民後見人だが、本市の取り組みの現状と、成年後見人制度の更なる活用推進について、考えを伺う。

内藤運富保健福祉部長 成年後見制度は、家庭裁判所が代理人を選び、選任された成年後見人が本人のために活動するものだ。親族がいけない等の事情で申し立てができない場合、市長による申し立てができ、現在、市内で市長申し立てによる後見を開始している事案は5件ある。

第三者後見人を支援する人材が必要だが、この状況を解消する手段として期待されるのが市民後見人で、親族後見人と第三者後見人の中間に位置し、ボランティア精神で地域の中でアドバイスや活動を行い、日常生活に必要な簡単な金銭管理や相談に乗ったりする役割が期待されている。市民後見人の養成事業は県内にはまだないが、第三者後見人以外に、社会貢献的な意欲を持つ市民を対象に、市民後見人として活躍できる人材養成は、今後の検討課題として考えていきたい。

問

観光立市としての方策、 観光振興策は

答

首都圏中心に各方面に情報提供



新田治江議員
(清新会)

新田治江議員 ①笛吹市は観光立市を掲げているが、観光による交流人口の拡大・集客のため、果樹・温泉に文化面を加え、桃の花祭りを盛大にする考えは、②俳人・飯田蛇笏、龍太先生の俳句の里として、全国にアピールする考えは、③俳句・投句大会開催の考えは、④蛇笏・龍太先生の生誕地としての整備計画は、⑤文化財めぐりを含むシャトルバス運行計画は進んでいるか。保坂産業観光部長 ①桃の花祭りは、笛吹市観光連盟を中心に各地域の特色を生かしたイベントを行っており、PRも首都圏を中心とした新聞や雑誌、ホームページなどで情報提供を行っている。文化面では教育委員会

をする「ボランティアガイド笛吹」という組織が誕生し、さらに組織の充実・PRを考えている。

②③④境川地区には、蛇笏・龍太先生を中心とした俳句文化が根付いており、全国小・中学生俳句大会が盛大に行われている。各方面と協議し、観光に生かせるような体制づくりを目指していきたい。また、市内にある図書館とも協議し、市出身の俳人などの特集コーナーの設置や、PRも行う考えだ。

⑤浅間神社や岡神社などの歴史的施設を巡るコースも含まれ、文化財的にも配慮している。試行運転の結果を踏まえ、今後のルートの参考としていきたい。

ごみ減量化への 取り組みは

新田議員 ①「やってみるじゃん53%減量」を推進してきたが、今日までの成果は、

②ごみ減量による環境負荷の低減、ごみ処理コストの低減は、③バイオマスタウン構想を策定し、どう広めていくのか。

④市民へのごみ減量に対しての意識啓発と協力を、どのように進めていくのか。

答

市民と共通認識で 減量化に取り組む

加藤市民環境部長 ①循環型社会の構築を図るため、「ミックスペーパー」「その他プラ」の分別収集の徹底、廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進を図るため、4Rの推進等を基本方針とし、自治会等への説明会および広報誌への掲載について、ごみ減量化への意識向上に取り組んできた。平成16年度集計量を基準で、可燃ごみは28%前後の減量が見込まれるが、53%減量までにはさらに努力が必要だ。

②処理コストは4億6、600万円が予測され、環境負荷に影響を及ぼす可燃ごみの減量が、すぐに総排出量処理コストの削減には結びつかない。さらなる減量に向けた普及啓発に努める。③生ごみを堆肥化し、農地への還元による循環型社会の形成を目指す。関係各課と連携を図り、計画的な事業拡大を図りたい。④広報誌、ホームページ等を活用し、積極的な説明会の開催等で、市民と行政が共通の認識に立ち、ごみの減量と分別による再資源化に努めたい。

はじり車納車式



3月6日・7日の2日間、付託された平成19年度一般会計補正予算の所管分および、条例改正5件を審査し、また、13・14・17日の3日間に、平成20年度一般会計当初予算の所管分および条例改正2件を審査し、いずれも原案のとおり可決した。なお、請願審査1件を継続審査とした。

おもな質疑

【総務部所管】

Q 合併項目の中に、旧町村すべてに支所を置くことになってしたが、独立した石和支所をおくべきでは。

A 市役所南館の開庁に伴い、事務機能が集約されるので、石和支所は廃止する。

Q 消防職員条例定数が減るが、現在の90人の定数が適正では。

A 定数を現状の実数に合わせるもので、85人でも住民サービスの向上を図れる。

Q 南館の職員駐車場の借地料は増えているのか、また公用車の削減は。

A 借地料は前年と同じ、公用車は共有車を設置し、合併時より30台くらい減少している。

【経営政策室所管】

Q 石和温泉駅周辺整備は、JRとの協議が止まっているが、

いつになるのか。

A 駅前広場の完成と合わせ駅舎の検討をしていたが、JRとの協議が進まず、国交省も調整に入っている。できるだけ早く着手したい。

Q 行政番組作成委託はどんな番組か。

A きらめきテレビで番組制作・配信し、2011年からのデジタル化にあわせ検討・実施する。

【消防本部所管】

Q 火災予防啓発予算が少ない。文化財消防訓練の指導は。

A 予算を伴わない活動が多い。消防訓練は2カ所実施した。

教育厚生 常任委員会

3月6日・7日の2日間、付託された平成19年度一般会計補正予算の所管分および、条例制定・改正12件、特別会計補正予算3件、規約変更1件を審査し、また、13・14・17日の3日間に、平成20年度一般会計当初予算の所管分および特別会計当初予算5件を審査し、いずれも原案の

富山市エコタウン視察研修



とおり可決した。また、継続審査となっていた「後期高齢者医療制度に関する請願」は、不採択すべきものと決した。

おもな質疑

【保健福祉部所管】

Q 配食サービスの実績が減っている。弁当単価も福祉協議会と民間業者で違うが、中身に差が出ないのか。

A 利用者の死亡、施設入所、介護保険制度への移行が主たる原因。弁当の中身に差はなく、利用者負担も同じである。

Q 介護予防サービス費が減額し、介護給付費が増加している。

A 介護予防サービスの分析をし、一層の施策展開をしていく。

Q 保育士の正職員比率が下がっている、確保が必要だが。

A 職員定数管理や少子化などで、雇用面は厳しい状況。今後の状況を見て考えていきたい。

【市民環境部所管】

Q 国保運営協議会で、収納率向上の決意を述べていた。国保税歳入額が減額になった根拠は。

A 最終補正でもあり、現実的に全額収納は難しいが、収率率向上に今後も努力していく。

Q 4月からはじまる後期高齢者医療制度で広域連合を設置したが、事務的には煩雑になるか。

A 事務量は増えるが、医療制度維持のため広域化が必要。市町村単独運営は難しい。

【教育委員会所管】

Q 予算減額が多いが、予算見積り、チェックをしっかりとやってほしい。

A 企業努力による入札差金、校外学習の内容変更が予算減額の主な要因。注意を払っていく。

Q 学校給食課が新設されるが、給食費徴収対策状況は。

A 学校給食運営委員会を早急に立ち上げ対応する。



建設経済 常任委員会

3月6日・7日の2日間、付託された平成19年度一般会計補正予算の所管分および、条例改正1件、特別会計・事業会計補正予算3件を審査し、また、13・14・17日の3日間に、平成20年度一般会計当初予算の所管分および特別会計・事業会計当初予算5件、財産区管理会計予算9件を審査し、いずれも原案のとおり可決した。また、請願審査1件を採択すべきものと決した。

おもな質疑

〔産業観光部所管〕

Q バイオオマスの郷づくり事業の大型生ごみ処理機購入費の減額理由、メーカー選定の基準は。
A EM菌を利用した堆肥づくりをテーマに処理機を購入した。メーカーは全国で1社しかなく、随意契約したが差額が出て減額計上となった。

Q ほたるの里づくり事業の経過、将来的な計画は。
A 管理運営は「稲山ホテル銀河の会」が中心、将来的に都市と地元住民との交流促進につなげたい。

〔建設部所管〕

Q 過年度分一般住宅使用料が190万円の増だが、徴収方法とその効果によるものか。
A 従来の督促は、長期未納は保証人請求もある取り扱いだったが、昨年11月から保証人に請求することとした影響で納付された。

Q 20年度工事の予算編成方針は。
A 合併特例債等の特定財源を活用し財政課と協議、一定ルールで予算編成した。

〔公営企業部所管〕

Q 下水道工事のときに、上水道との連携は。
A 同じ掘削穴に上水道を同時に埋設するのが基本だが、道路幅員や埋設物の状況から、同時施工できないところもある。連携をとり事業実施している。

Q 上水道・簡易水道の停水処分の状況は。
A 50万円以上の滞納世帯に予告書を送付し、24件、225万円の収納ができた。今後も随時実施していく。

Q 琴川ダムの受水開始で新年度予算に負担金が計上されている。切り替えの状況は。
A 4月から受水、具体的な段取りを行っている。原水井戸の廃止・停止は準備中。



館山市立那古小学校を表敬訪問

委員会

視察

研修報告

▼総務常任委員会

1月29日・30日に委員会視察研修を行い、災害時における相互応援協定の検討がされている、新潟県胎内市役所を訪問しました。胎内市の組織機構や行財政改革についての説明を受け、事務事業の見直しや、行財政の総点検を行い、市民の視点に立った行政運営を目指して取り組んでいるとのことでした。

翌日は、農産物加工施設や市営クアハウスなどの施設見学を行いました。

▼教育厚生常任委員会

1月28日・29日の2日間、富山県内において委員会視察研修を実施しました。1日目は芦川町の兜造り集落の活用

に関し、類似する古民家群である、世界遺産五箇山合掌集落を視察しました。2日目は、富山市がごみの再利用化に取り組み、資源循環施設の拠点としている、エコタウン産業団地内の交流推進センターで

研修を行い、ハイブリッド型廃プラスチックリサイクル施設、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設を見学しました。

▼建設経済常任委員会

1月29日・30日の両日、千葉県内2市を委員会視察研修のため訪問しました。4月から6月にJRと県による、山梨デスティネーションキャンペーンが実施されるため、昨年デスティネーションキャンペーンで大きな成果をあげた、千葉県館山市を29日に訪問し、キャンペーンへの具体的な取り組みの様子や、アフターデスティネーションキャンペーンへの対応など説明を受けました。

また、修学旅行で毎年笛吹市を訪れている、市立那古小学校を表敬訪問し、児童の歓迎を受けました。
翌30日には、同じく千葉県白井市のバイオオマスタウン構想についての研修を行いました。

山梨デスティネーションキャンペーンが始まりました。 魅力ある笛吹市を、全国に紹介できるでしょうか？

笛吹市役所に聞いてみました。

Q 桜、桃の花と続き、笛吹市にとっても一番いい季節を迎えました。昨年のNHK大河ドラマ「風林火山」の影響で、笛吹市にも大勢のお客様が来ましたが、この*デスティネーションキャンペーンで、魅力的な市内各地を全国にPRできるでしょうか。

表紙写真：
38年ぶりSL運行
桜が満開の石和温泉
駅にSL列車が
やってきました。
山梨での運行は実
に38年ぶりとな
ります。

A このキャンペーンは、4月から6月までの3カ月間、JRや県、市町村、観光団体などが協力して、全国から山梨県へ来ていただくというものです。

全国のお客様に、笛吹市を最終目的地に選んでいただくために、キャンペーンの一環として、土日や祝日には市内観光シャトルバスの運行を計画しています。

また、4月上旬から中旬にかけて、中央線沿線の桃畑ライトアップが行われ、桃源郷の中をSL列車（蒸気機関車）も運転されて、大勢のお客様に喜んでいただきました。石和温泉駅前広場も整備され、観光による経済効果はすそ野が広いだけに、市民の誰でもが「おもてなし」の心を大切に、気持ちよく観光客を迎えて欲しいですね。

※デスティネーションキャンペーンとは、JRと自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンのことです。（デスティネーション＝目的地・行き先）



石和温泉駅前公園「あしゆ」

お詫び

前回の議会だより13号表紙写真
説明文「弓道新年初射会」は、
「弓道新年初射会」の誤りでした。
訂正して、お詫びいたします。

編集委員会よりお知らせ

笛吹市に関する疑問や聞きたいこと、日ごろ感じていることなどを、ぜひお寄せください。編集委員会では、市民の皆様のご意見を大切に、今後の議会活動に役立てていきたいと思ひます。

笛吹権（ごん）ちゃん

議会を傍聴しませんか

笛吹市議会第2回（6月）定例会は、6月5日より6月16日まで、八代議場で行われる予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。

- ◆平成20年度・ふえふき協奏曲・第1番が、いよいよスタートしました。
- ◆笛吹市においても、県内外より大勢の観光客をもてなす最高の季節となりました。観光は関連する産業のすそ野が広く、経済の波及効果は極めて高い。景気の先行きが懸念される中、内需拡大を促す先導的な役割が注目されています。
- ◆「産業観光読本」によれば、「国の光を観る（観ることも読む）」と、国や地域が光り輝くことによって、外部から人が集まるとの考え方に基づいていたとされます。
- ◆その意味で、観光は魅力ある国、地域づくりの重要な柱といえます。今年10月にも国土交通省の外局として「観光庁」が発足します。国の観光振興策を、総合的に進める体制が整うもので、「観光立国」の実現に向けた、強力な取り組みを期待したいものです。
- ◆さあー！春本番！
「桃・ぶどう・日本一の郷」笛吹市、まずは市内めぐりをさせては、いかがでしょうか？
（川村恵子）



MTOTOY INTERFACE



笛吹市議会だより No.14

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917
TEL.055-265-2112(直通) FAX.055-265-1101
URL:http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/

発行者：笛吹市議会議長 中村善次
編集：笛吹市議会広報編集委員会

笛吹市議会だより No.14 22